

北海道建築士会北空知支部と

災害時応急危険度判定活動連携協定を締結

9/13

一般社団法人 北海道建築士会北空知支部（岩淵賢二支部長）と「災害時応急危険度判定活動連携協定」を締結しました。

この協定は、地震災害が本町で発生した際、同支部が避難施設や医療施設等すべての建物が倒壊の恐れがないか危険度の判定を行うことで、二次災害の発生を防ぐことを目的としています。



沼田中学校 2 年生が

思春期健康教室

9/13

子育ての大切さを学ぶ「思春期健康教室」が開催され、沼田中学校（小川勉校長）の2年生が赤ちゃんとおふれあいました。

最初は緊張した様子だった生徒たちも、実際に抱っこしたりおふれあう中でみられる、赤ちゃんの可愛らしい無邪気なしぐさに笑みがこぼれていました。

生徒達は「泣いてしまうとあやすのが大変」、「とても可愛かった。こんな機会はあまりないので、いい経験になった」などと話していました。



いつまでも元気でいてね

百歳高齢者内閣総理大臣表彰

9/13

百歳を迎えられた方に対するお祝い状及び記念品の贈呈式が行われました。

今年は、石川たつ子さんが百歳を迎えられ、金平町長からお祝い状と記念品をお渡ししました。

この表彰は、社会の発展に寄与されてきたことへの感謝と、自らの生活の向上に努める意欲を更に高めていただくことを目的に、内閣総理大臣からお祝い状及び記念品を贈呈するものです。併せて沼田町からも記念品を贈呈致しました。



地産地消・食の安全を学ぶ

メロンの収穫体験

9/15

沼田小学校（疋田博和校長）の4年生が6月に定植したメロンの収穫体験を行いました。

この収穫体験は町内の農家女性により結成された「農天気の家（藤村富士子代表）」が主催し、子供達に農業の良さや食べ物の作られる過程、食べ物を大切にすることで、生き物へのやさしい心を養ってもらうことを目的に毎年実施しています。

収穫したメロンは学校に持ち帰り、切り分けて試食したり、糖度を測って他の野菜や飲み物と比べるなどして、児童からは「甘くて美味しい」と声があがり、定植から収穫まで体験したメロンの出来映えを実感していました。



遊びを取り入れ

子ども交流ひろば

9/19

学童保育所「こどもつくる」にて、今年2回目の子ども交流ひろばを開催し、23名が参加しました。今回は、5月に植えた野菜を収穫してカレーをつくらうと計画していましたが、台風によるあいにくの雨のため、体育館にてレクリエーションを行います。「後出しじゃんけん」等で緊張をほぐし、「ハンカチ落とし」などの遊びで身体を動かし、楽しく交流しました。



実りの秋に

沼田小学校5年生が稲刈り体験

9/26

沼田小学校（疋田博和校長）の5年生が稲刈りの農業体験学習を行いました。児童たちは稲刈り作業の手順をJA北いづき職員から指導を受けながら、鎌を使って手作業で稲刈りを行いました。

春に田植えを行った時には足元がぬかるんで作業に手間取っていましたが、稲刈りのときには足元が固まって作業もスムーズに進んでいました。収穫した稲は小学校校舎横に昔ながらの「はさがけ」を行い脱穀されてから児童たちに配られます。



晴天の中

明日萌・ほたるの里ウォーキング

10/1

今年は、翌日10月2日グランドオープン
の新施設「沼田町暮らしの安心センター」を
スタートとし、天候に恵まれ、町内の他、遠
くは札幌市や北広島市などから165名の参加
をいただきました。

開会式では吉田教育長から「秋晴れの空の下、楽しんで歩いて下さい」と挨拶がありました。

参加された皆さんは、15km、6.5km、3.5kmの3コースの中から体力に合わせて美しい紅葉を眺めながら爽やかな汗を流しました。

コースの途中では、沼田ライオンズクラブ（大西純一会長）による、飲料や果物などの提供や、五ヶ山橋の解体を施工している㈱砂子組（砂子邦弘代表取締役）からの地域貢献ボランティアの一環で飲料等を提供いただき、参加者は疲れた身体を癒していました。



▲ちょっと一休み 沼田ライオンズクラブ提供の給水所



▲安心センターで開会式を行いました。

秋の気配を感じながら

第22回紅葉祭り

10/1

ほろしん温泉ほたる館で第22
回紅葉まつりが開催され、明日萌・
ほたるの里ウォーキングに参加した
方々など合わせ約250名が会場
に集まりました。

誰でも参加できるミニゲーム大会や、朝のラッキー抽選会、もちまき、大抽選会などで盛り上がり、来場された方たちはジンギスカンや、きのこ汁などを食べながら、深まりつつある秋の気配を楽しみました。



待望の企業進出

タスマン株式会社の立地が決まりました

10/5

タスマン株式会社 多田宏代表取締役社長（本社 東京都）が、本町工業団地の3区画を購入する事が決まり、契約の調印式を執り行いました。

金平町長は「平成17年に、タスマン株式会社を初めて訪問し、その時の縁で本日の調印式となりました。本町の雇用促進と共にタスマン株式会社の発展にも寄与したい。」と話しました。

本町への立地にあたり多田社長は「平成17年当時は北海道は遠いと感じていたが、10数年経過し、北海道のインフラが整備され身近に感じられるようになった。沼田町で容器製造から充填までを行ない道内の卸売業、小売業者への販売拡大を行っていきたい。」と述べられました。

タスマン株式会社は、昭和48年に創業され手動式液体噴霧器などのプラスチック容器を主力商品として事業を展開しており、東京オリンピック終了後、建設工事に着手し沼田工場では15～20名を雇用する予定です。



▲流体力学を利用した主力商品の数々



沼田町就業支援センター

開所10周年記念式典

10/5



元気いっぱい披露

10
/
14

沼田小学校（疋田博和校長）で「心を一つに 絆を深めろ」をテーマに学習発表会が開催されました。

会場の体育館には保護者をはじめ、おじいちゃんおばあちゃんら家族の皆さんが大勢つめかけ、1年生による「はじめのことば」から学習発表会が始まりました。各学年や複数学年で練習してきた合唱や演奏、劇など学習の成果が発表されると、会場からは大きな拍手や歓声が起こっていました。



▲【1年生】初めての発表会、緊張しながらも元気に踊りました。



▲【2年生】「おむすびころりん」を大きな声で演技しました。



▲【3年生】息の合ったダンスを披露！



▲【4年生】マジックも取り入れ劇を熱演！



▲【5年生】沼田版黒柳徹子さんと久米宏さんのトークが会場を盛り上げてくれました。



▲【6年生】小学校生活最後の発表会、役に成りきった最上級生らしい演技でした。

沼田町民生委員児童委員協議会 副会長 石川 晶子氏

「北海道社会貢献賞」を受賞！

9月7日（木） 苫小牧市で開催された北海道社会福祉大会の席上で、沼田町民生委員児童委員協議会副会長の石川晶子氏が北海道社会貢献賞を受賞されました。

石川氏は平成7年12月から旭町西地区の民生委員として、また、平成22年12月からは沼田町民生委員児童委員協議会の副会長を努められ、通算21年以上の長年にわたり地域福祉の向上に貢献されたことが認められこの度の受賞となりました。

受賞の報告に訪れた石川氏は「これからも少しでも地域の役に立っていきたくと考えております。」と述べられ、金平町長は「社会貢献賞受賞、大変おめでとうございます。体には十分気を付けていただいて、これを機に益々ご活躍されることを願っております。」とお祝いの言葉が述べられました。



長年務めていただいた筒井由美氏に

町長から感謝状を贈呈

10月2日（月） 平成22年6月から7年間、沼田町教育委員として務めていただいた筒井由美氏へ、長年の功績を称えて金平町長から感謝状が贈呈されました。

筒井氏は、沼田幼稚園・沼田小学校のPTA副会長を歴任され、平成22年から沼田町教育委員として小中一貫教育に携わるなど、教育行政にご活躍をされました。

長きに渡り、本町教育行政にご尽力くださりありがとうございました。



新たな教育委員

沼本綾氏に教育委員選任書を交付

10月2日（月） 金平町長から沼本綾氏へ教育委員選任書の交付が執り行われました。

沼本氏は筒井委員の任期満了（9月30日）に伴い新たに選任されました。沼田幼稚園 PTA 副会長。平成27年と28年の2年間小学校PTA副会長として務められており、金平町長は「これまでの経験を活かして沼田の教育のためにお力添えをいただきたい」と挨拶がありました。

